

CURRICULUM

①:「私を変えた科目」(098ページ) ●:必修科目 ○:全員履修科目 ■卒業研究Ⅱ履修前提条件(必修)
★卒業研究Ⅱ履修前提条件(選択) 【福ブ】福祉用具プランナー科目

	1年次	2年次	3年次	4年次	
総合基礎科目	◎国際コミュニケーションI・II 心理学 社会学 経済学 憲法 倫理学 ◎健康科学概論 自然科学概論 ●情報処理演習 スポーツと健康I・II	日本福祉大学の歴史 ころとからだ 福祉社会入門 視覚障害者支援論 ろう文化と手話 地震と減災社会 聴覚障害者の理解と支援 ふくしとフィールドワーク 国際理解	知多半島のふくし ふくしと減災コミュニティ	ふくしフィールドワーク実践 情報英語	
専門基礎科目	【学科共通専門基礎科目】 ●基礎数学 リハビリテーション論 医学一般I(からだのしくみ)	【専修専門基礎科目】 基礎演習■ 基礎数学II★ 情報処理■ 情報工学入門■△ 情報数学I★	【専修専門基礎科目】 論理回路 健康情報演習A■【福ブ】 健康情報演習B■ 情報数学II■ 確率統計学演習	【学科共通専門基礎科目】 社会調査法	
専門科目	【学科共通専門科目】 介護福祉論 福祉用具論 情報技術I~IV【単位認定科目】 キャリア形成I~IV【単位認定科目】 【専修専門科目】 プログラミング演習I■△① プログラミング演習II★△ コンピュータシステムI★△	【学科共通専門科目】 障害者福祉論 地域福祉論I インターンシップI・II【単位認定科目】 【専修専門科目】 人工知能I■ 力学基礎★ コンピュータシステムII★△ データ構造とアルゴリズムI★△ リハビリテーション工学★【福ブ】 オブジェクト指向プログラミング演習① データベース★ システム設計論△ 情報ネットワーク★△ 福祉用具演習【福ブ】 身体機能リハビリテーション【福ブ】 認知機能リハビリテーション【福ブ】 福祉用具市場の理解【福ブ】 医療システム開発演習① 情報アクセシビリティ 情報セキュリティ Webプログラミング演習△	【学科共通専門科目】 キャリア開発 高齢者福祉論 キャリア研究 【専修専門科目】 人工知能II データ構造とアルゴリズムII△ マルチメディア△ 組込みプログラミング演習 生体情報とバイオメカニクス リハビリテーションシステム マルチメディア演習△ CAD演習I CAD演習II 情報工学実験 住環境整備・住宅関連機器【福ブ】 健康情報実験 生活支援機器演習 生活と情報技術 福祉用具プランニング演習I・II【福ブ】① 健康情報総合演習I △ 健康情報総合演習II【福ブ】 業界研究 ●卒業研究I■	【専修専門科目】 卒業研究II	
自由科目		ビジネススキル			

卒業研究テーマ

- ・人工知能技術を用いた介護ケアプラン作成支援システムの構築～アセスメントデータのデジタル化
- ・ローリングストックのためのアプリケーション作成
- ・ペナルティ関数法を用いた差分進化による敵対的サンプルの生成
- ・深層強化学習を用いたゲームエージェントの学習
- ・小型マイコンを用いた見守りシステムの製作 ～家族が遠く離れた子どもを見守る環境作り
- ・姿勢に関わらず利用しやすい消毒液用スタンドの開発
- ・サーバーサイド Java を用いたWeb 画像データベースの構築及び画像表示時間の測定
- ・3次元グラフィクスを用いた農業シミュレータの開発



正課科目だけで
在学中取得が可能!

資格取得サポート

情報処理技術者(国家資格)

情報関連企業や関連省庁の就職活動では、「基本情報技術者」「ITパスポート試験」の資格が求められることが増えていいます。本専修の情報科目を学ぶことで、これらの資格学習が可能です。さらに上級資格をめざす人には「応用情報技術者」「ネットワークスペシャリスト」試験の合格も支援します。

福祉用具プランナー(受験資格)

工学と福祉の知識を基盤として機器選定や利用を支援する「福祉用具の専門家」としての能力を認定する民間資格です。本専修では中部地方の学校で唯一、また、工学系大学では本専修だけが在学中に研修修了試験受験資格を得ることができます。この資格を活かして医療・福祉の分野での活躍が期待されます。